

春風に乗



二月定例会開かれる

平成四年二月北九州市議会定例会は、二月二十五日から三月二十五日までの三十日間の会期で開かれました。

市長から提出された平成四年度予算など八十六件の議案をすべて可決したほか、議員から提出された意見書四件を可決しました。

グリーンパーク（響灘緑地）

2月定例会

積極型予算

平成4年度当初予算総額を可決

この定例会では、ルネッサンス構想第一次実施計画の仕上げに向けた平成4年度当初予算を可決したほか、奨学金貸付額の増額や市立病院の診療科目等の変更のための条例改正案を可決しました。決まった主なものは、次のとおりです。

市長提案理由説明(要旨)

「活力・健康・生きがいのNVS」

平成4年度は、「活力と健康・生きがいのNVS」に重点を置いて積極的な予算を編成しました。特に次の事項に配慮し、施策を展開していきます。

健康で生き生きとした市民生活

①保健・医療の充実②高齢者

市長から提出されたもの

◎平成4年度当初予算

- 一般会計
四、六一九億一、二〇〇万円
特別会計(二十会計)
三、七三七億八、三三九万円
企業会計(五会計)
一、一五六億九、一二五万円
総額
九、五一一億八、六六四万円
◎平成三年度補正予算
補正総額一〇億二、六九二万円
◎条例の一部改正
北九州市国民健康保険条例
助産費支給額
二四万円(現行一三万円)
保険料賦課限度額
四四万円(現行四二万円)
北九州市衛生施設の設置及び管理に関する条例
市立医療センター付属感

活力ある大都市へ

の健康と生きがいがづくり(高齢化社会モデル都市づくり)
③障害者が社会参加できる環境づくり④女性への活動支援

学術・文化の創造と次代を担う人材の育成

①北九州大学の充実②学術・研究都市整備構想の推進③教育環境の充実④市民が文化・スポーツに親しめる環境づくり

感染症棟の新設

市立朝日ヶ丘病院の廃止
北九州市屋外広告物条例
許可手数料、罰金額の引上げ等

北九州市都市公園、霊園、駐車場等の設置及び管理に関する条例
響灘緑地広場、熱帯生態園、都市緑化センター等の新設
門司港駅前自転車駐車場の新設
志井ファミリースポール、野球場、庭球場、びびき動物ワールド等の使用料改定

北九州市病院事業の設置等に関する条例
呼吸器科・呼吸器外科(医療センター)、循環器科(八幡病院)の新設

北九州市立病院等の使用料及び手数料条例
病室使用料の引上げ

①新北九州空港、東九州自動車道の早期実現②港湾機能の充実③市内道路・駐車場の整備④産業の高度化、多様化と雇用の拡大⑤人口増加対策(定住促進)⑥国際協力の推進(国際宇宙大学夏季講座アスパック'92北九州の開催、仮称・北九州国際環境協力センターの設立など)
以上の考えに立ち、全力を尽くします。

北九州市教育施設の設置及び管理に関する条例
体育施設の使用料引上げなど
北九州市奨学資金
貸付金月額四一、〇〇〇円(現行三四、〇〇〇円)以内

返還期間 貸付期間の三倍(現行二倍)の期間内
◎土地の取得
南小倉中央公園用地(小倉南区大字長野ほか)
土地の面積二二、二九九・五〇㎡

請願・陳情

(採択されたもの)

請願第三十五号 法務局職員の増員を求める意見書の提出について

議員提出議案(可決されたもの)

- 法務局職員の増員を求める意見書
介護・看護休暇制度の新設等に関する意見書
看護婦確保法の制定を求める意見書
健康カードシステムの開発・普及に関する意見書
※これらの意見書は、関係行政庁に送付します。

人事紹介

二月定例会において、次のかたがたの選任及び推薦に同意しました。(敬称略)

- 北九州市助役 山口 均
人権擁護委員 石原 文人
伊藤ヨシエ 藤井 秀明
脇山ヨシノ 古賀 哲磨
佐藤 進 野町 久夫
原田恵美子 大村 一友
北九州市固定資産評価審査委員会委員
吉松 繁吉 濱田 勝次

請願第七号 小倉南区横代地区の信号機の設置について
陳情第四十四号 通学路の整備について
通学路(北方小学校の通学路の一部)の拡張、整備

質疑応答

本会議で、十五人の議員が、議案や市政全般について質問を行いました。その中から、いくつかをとりあげました。



平成四年度予算の特色は

議員

平成四年度の予算編成に当たって、基本的な考え方や特色をお聞かせ下さい。

また、市債の発行額が増えています。今後の財政運営に支障はありませんか。

市長 四年度は、ルネッサンス構想第一次実施計画の四年次という仕上げの時期にかけ、構想の着実な推進のため、必要な財源を確保しながら、積極的な予算編成を行いました。

歳入面では、景気の減速化等の影響により法人市民税が前年度を大幅に下回るなど、一般財源の伸びがあまり期待できないことから、財政調整基金を取り崩す等の財源措置を行いました。この結果、一般会計の対前年度比は五・七%増と十一年ぶりの高い伸び率となりました。

また、歳出面では、人件費などを極力おさえ、建設事業

費など投資的経費が前年度に比べ十六・八%増となつてい

ます。

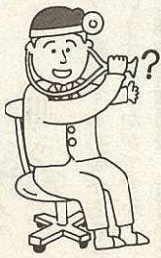
また、費目別では、民生費は七・八%増、教育費は十三・六%増と高い伸びとなり

ました。

なお、市債については、元利償還時に地方交付税措置のあるものを積極的に活用することにしており、特に心配はないと考えています。

市民の医療ニーズに 応えるためには

▼市立病院



議員

門司・戸畑病院の病棟縮小、結核療養所松寿園の外科病棟廃止などが提案されていますが、これらの実施によって、今後、市立病院は市民の医療ニーズにどのように応えていく考えなのですか。

実施に向けた対策は

▼学校週五日制導入

議員 本年九月から月一回の学校週五日制の実施が計画されています。

学校週五日制は、豊かな心を育てる絶好の機会として大きな期待がもてる反面、共働き家庭の子供の過ごし方不安をもつ保護者もいます。

市は、円滑な実施に向け、どのような施策を考えていますか。

教育長 この学校週五日制に対する不安を解消し、円滑な導入を図るため、①保護者や市民に学校五日制の意義についての理解と協力を得るため、リーフレット作成や地域

病院局長

複雑、多様化する市民の医療ニーズに応えるためには、それぞれの病院が重複投資や医療の競合をさけ、医療機能を高めながら役割を分担して、市立病院相互の連携を強化し、市立病院群として対応していくことが必要と考えています。

そこで、①医療センターは市立病院群の中核的病院として②八幡病院は救命救急センターとして③門司・若松・戸畑病院は総合病院として、以上の基本的考え方に立ち、市民ニーズに応じていきます。

今回の門司・戸畑病院の病

会議の充実等を図る②授業時間を確保するため、学校行事の精選やわかる授業を推進する③学校外活動の機会を確保するため、学校開放、図書館の児童図書の実等を図る、など対応策を考えています。

今後、PTA、子供会等関係団体と学校週五日制推進協議会を設け、よりよい導入ができるよう最大限の努力をしたいと思ひます。



資源再利用型へ

▼ごみ処理行政

議員 市民の環境保全、資源保護に対する関心が高まっています。

本市のごみ処理行政も、これまでの処理重視型から環境保全や資源保護に配慮した資源再利用型へと、理念を転換する時期が来たと思ひますがいかがですか。

また、再資源化を図るためのリサイクル体制や事業系ごみの減量化への取り組みについてもお聞かせ下さい。

市長 リサイクルを推進するためには、回収経路を確立することが必要です。本市の場合、鉄、紙、ガラスの回収ルートについては一応整っており、材木もチップ化の方向で市内企業に検討を依頼しているところですが、

また、事業系ごみの減量化については、説明会などを実施



新北九州空港 東九州自動車道 実現へ向け

▼市議会議員連盟

北九州市議会の全議員で構成する「日中友好」「新北九州空港早期建設促進」「東九州自動車道早期建設促進」の各議員連盟は、三月九日総会を開き、四年度の事業として、日中友好促進をはじめ新北九州空港、東九州自動車道の早期実現に向け、国等へ積極的に陳情活動を行うことを決定しました。

施してきましたが、四年度には過剰包装の自粛やトレイの回収促進、さらには各事業所に出向き、指導の徹底や個別の協力要請に力を入れたと思ひています。

環境局長 本市のごみ処理のあり方については、再検討すべき時期に来ていると考えています。

現在「ごみとリサイクルを考える北九州委員会」の中で鋭意検討を進めています。

これまでの委員会での議論からみて、基本的には現在の集団資源回収をより強化しつつ、分別収集による資源回収が盛り込まれるなど、資源再利用型への理念の転換が打ち出されるものと考えています。

大里(富野)間に

ランプの新設を

▼都市高速道路▲

議員 フェリー基地の新門司への集約化など新門司地区の発展に伴い、小倉都心部と新門司を結ぶ都市計画道路新町井ノ浦線の整備が急がれています。

現在、この道路の計画見直しを行っているとのことですが、見直しをお尋ねします。また、この見直しに併せて都市高速道路四号線に、新町井ノ浦線から利用できるランプ



プを新設する必要があると思えますがいかがですか。

都市計画局長 新町井ノ浦線は、事業化に向けて、新しいルートも含め、構造、事業費などを検討しているところですが、できるだけ早く関係機関との協議に入り、四年度中

競輪・競艇場を

グレードアップ

昭和二十三年開設以来の伝統を誇る小倉競輪場は、近年老朽化が著しいことから、議員から「競輪発祥の地にふさわしい施設整備に取り組みべきでは」と、市の見解を求めました。

これに対し、市長は、「発祥の地にふさわしい整備が必要である。現地で建て替えるか移転、また、多目的施設への整備などの問題を検討しており、なるべく早い時期に改築計画をまとめるよう努力したい。」と答えました。



このほか、市は四年度から門司競輪場に、迫力あるレース映像を映したす全国初のハイビジョンシアターの建設や若松競艇場の西側スタンド全面改築などを計画しています。

には都市計画変更を行いたいと考えています。

なお、新町井ノ浦線と都市高速道路とは交差する部分があり、また、都市高速道路大里(富野)ランプ間の距離も長いことから、ランプ新設をぜひ検討したいと考えています。

女性の「かけこみ寺」を設置しては

▼母子寮改善▲

議員 市内には、母子家庭で、生活上のいろいろな問題のため、子どもの養育が困難な親子が入寮する母子寮が四カ所設置されています。

しかし、特に小倉母子寮は、老朽化や施設内容の不備など生活環境は好ましくない状況におかれており、他の施設についても、入寮者から寮則や施設面での問題がでています。早急に改善すべきではありませんか。

また、近年、家庭内暴力など肉体的、精神的な危害を受ける女性を一時的に保護する、いわゆるかけこみ寺の必要性が高まっていますが、市の考えをお聞かせ下さい。

市長 小倉母子寮は、大変古くなっています。現地で建て替えるが困難であることから、他に適地を求め全面改築したいと思っています。

また、いわゆる「かけこみ寺」については、他都市の例

をみても、母子寮とセットで整備されているようです。小倉母子寮の改築に併せて設置したいと考えています。

民生局長 母子寮の施設運営については、他都市の状況を調査して、これからの時代にふさわしいあり方をさらに検討していきたいと思っています。

新館建設 学部・学科再編成の内容は

▼北九州大学▲

議員 新年度予算に、北九州大学の新館建設や学部・学科の再編成のための予算が計上されています。

北九州大学事務局長 新館建設、学部・学科の再編成は、北九州大学を文化系総合大学に向けて、質・量ともに充実させ大学の活性化を図るための中心的事業です。



北九州大学(仮称)新館完成予想図

新館は、地下一階地上十四階、約百九十室の各種教室、研究室のほか、ホール、談話室などを設けます。また、地域に開かれた大学として、公開講座や講演会、学会などが開催できる多目的な教室も整備することにしており、七年三月には完成させたいと考えています。

また、学部等の再編成は、国際化・情報化など時代の変化やニーズに対応していくとともに、次代を担う人材の育成を図るために行うもので、五年度発足を目標に検討を進めているところです。

行政窓口の一本化を

▼人口対策▲



しており、人口対策は最大の課題となっております。市では、人口増対策として、企業誘致や定住促進のための住宅政策等多面的な事業を実施していますが、施策を効果的に進めるためには、これらの事業を総合的に管理・推進する組織が必要と思えます。いかがですか。

今後、自動車関連企業の住宅建設や大学の拡充などを積極的に進めていくことにより、人口の減少はこれから収束に向かうものと期待しています。

議員 北九州市の人口は、昭和五十四年をピークに減少

企画面局長 本市の人口は、昨年十月から十二月にかけて連続して増加しています。この要因は、雇用の創出等これまで実施してきた施策が効果を奏してきたのではないかと考えています。

また、これまで各局がそれぞれ行ってきた施策をさらに実効あるものにするため、特にUターン人材確保、雇用対策、定住施策の推進の組織として、経済局に雇用開発課を新設します。

改正の内容は

▼国民健康保険条例▲

議員 国民健康保険の保険料賦課限度額、助産費支給額の引き上げ等のための条例改正が提案されています。

改正の内容や理由についてお聞かせ下さい。

市長 保険料賦課限度額の引き上げについては、国の基準額が四十四万円から四十六万円に引き上げられること、さらには、仮に限度額を現行の額のまま据え置いた場合、所得割を負担する低所得者の

保険料を重くすることになるとの理由から、国の引き上げ額と同額の二万円を引き上げるものです。

このほか、賦課限度額以下の所得層の保険料の負担軽減への要望が強いことから、四年度は所得割の賦課割合を四十二％から四十二％に変更しました。

民生局長 助産費支給額の改正は、国の改正に準じて、現行の十三万円を二十四万円に引き上げるものです。この改正は、今回国の財源措置が拡充されたことから、保険者負担を増加することなく実施が可能となりました。

階段に手すりを

▼中層市営住宅▲

議員 市営住宅の階段に手すりを設置したことにより、高齢者のかたから「安全で話し相手が増えた」と喜びの声を聞きました。

手すりは安全面のみならず、高齢者の交流範囲を広げるうえでも大きな役割を果たしています。

そこで、年次計画を立て、すべての中層市営住宅に手すりを設置してはいかげですか。

市長 高齢化社会に対応した住宅政策として、三年度から新たに建設する市営住宅には、すべて、階段への手すり



設置や段差解消を実施しているところですよ。

建築局長 既設の市営住宅においては、入居中の高齢者に対し、低い階への住み替えの制度を設けています。また、階段の手すり設置については、心身障害者の四級

以上のかたや歩行障害のあるかたからの申請に基づき、設置することになっています。

今後、高齢化社会の進展に伴い、手すり設置の要望は増加することが考えられます。入居実態を考慮し、計画的に設置していくよう検討したいと思っています。

黒崎副都心とモノレール黒崎線

議員 現在、副都心黒崎では、具体的な整備事業がほとんど実施されていません。早急に整備構想を固め、事業に着手する必要があると思いますが、今後の見通しをお聞かせ下さい。

黒崎副都心とモノレール黒崎線

また、昭和四十六年の都市交通審議会から提案されたモノレール黒崎線の計画は、現在どのようなようになってい

市長 黒崎副都心整備については、昨年黒崎バイパスが事業決定されたことを受け、さまざまな調査を行っており、三年度中に整備構想を策定したいと思っています。

また、黒崎バイパスの建設や黒崎駅西地区市街地再開発事業、黒崎駅前街路整備など先発して着手する考えです。

なお、モノレール黒崎線については、その後人口が伸びず、また、バスや筑豊電鉄の機能が強化されたこと等により、モノレールに対する需要が伸びていないのが実情です。さらに、元年の九州地方交通審議会の答申では、既存の交通機関の機能拡充のみが提示され、モノレール黒崎線については、何も示されていません。

従って、この計画は自然消滅したと理解していますが、新しい時点に立つての交通手段の可能性については、多

面的に検討していきたいと思っています。

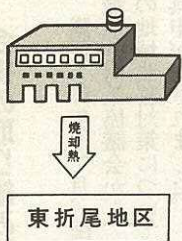
東折尾地区へ供給しては

議員 四年度に、新皇后崎工場建設の基本設計が計画されています。

この工場の焼却熱を隣接する東折尾地区新都市拠点整備事業地区内の公共施設にも供給するよう、検討してはいかがですか。

▼新皇后崎工場・焼却熱▲

環境局長 新皇后崎工場から発生する焼却熱は、発電や蒸気、温水として供給するなど、最大限に有効利用するこ



新動物管理センター(小倉北区西港)完成予想図

近年、ペット愛好者の間から、飼育してきた犬、猫が死亡した場合に火葬してくれるところがほしい、との要望が出ています。

今定例会においてもこの問題がとりあげられ、保健局長は、「現在改築中の新動物管理センター完成を機に、希望者には有料で火葬を行ってほしい。」と答えました。

なお、新センターでは、これまで好評の子犬の里親さがしを引き続き実施していくほか、飼い主のマナーアップ等のための動物の飼育教室なども新しく計画しています。

手軽に食べたい 美味なトラフグ!



「関門(北九州)名産トラフグの養殖を」……高嶺の花トラフグを市民も手軽に味わえる、そんな期待をふくらませる提案が、本会議において、議員から出されました。

トラフグの養殖は、本市近海の自然条件等からも非常に難しいと言われていますが、経済局長は「養殖フグは、天然ものに比べ安く、大変魅力があります。養殖の可能性について勉強していきたい。」と答弁しました。

女性問題地域推進員の 総合女性センターの 内容

内容

議員 女性問題に積極的に取り組んでいる本市では、四年度から女性問題地域推進員の設置が計画されています。その内容や役割についてお尋ねします。

また、実施設計に着手される総合女性センターの概要についてもお聞かせ下さい。

市民局長 推進員は、女性の地位向上に向けての啓発活動や女性行政に関するイベントのPR、女性に関する意識調査への協力などの活動をしていただくこととしており、

当面中学校区に一人ずつ配置する予定です。なお、推進員は一般公募により、女性の地位向上に熱意と情熱を持ち、地域や職場で積極的に活躍できるかたにお願いしたいと考えています。

総合女性センターは、小倉北区大手町の市有地に、延べ面積六千五百㎡規模の建設を計画しています。

主要施設として、約四万冊収蔵の図書室、国際会議に対応できる同時通訳設備を付設した約六百席のメインホール、セミナー室、トレーニング室、料理室、和室等を設置する考えです。

議員 西南女学院では、看護系四年制大学新設の計画を進めていると聞いています。開校の見通しと市の支援策についてお尋ねします。

市長 西南女学院では、六年四月の看護系大学新設に向け、現在、文部省と認可申請のための最終的な詰めを行っており、保健福祉学部看護学

開校の見通しは

▼四年制看護系大学▲

議員 西南女学院では、看護系四年制大学新設の計画を進めていると聞いています。開校の見通しと市の支援策についてお尋ねします。

市長 西南女学院では、六年四月の看護系大学新設に向け、現在、文部省と認可申請のための最終的な詰めを行っており、保健福祉学部看護学

移転の必要性の 説明を

▼小倉北区役所移転問題▲

議員 昨年十月、小倉北区役所用地地拠点開発検討委員会から「小倉北区役所の移転問題を検討すべきである。」との中間答申が出されました。

区役所は、市民にとって最も身近な行政機関であり、紫川マイタウン・マイリバー事業を推進するために区役所を移転するというのは問題があります。移転問題について説明して下さい。

市民局長 先般、拠点開発検討委員会から「小倉北区役所は北九州市の都心整備の拠点として極めて重要な場所であり、区民の利便性を考慮するなかで、早い時期に移転問題を検討すべきである。」と

科及び福祉学科を設置する、と聞いています。

この大学新設は、市内では産業医科大学以来のことで、今後の医療ニーズや高齢化社会に対応できる人材の確保、人口増対策の点からもぜひ必要と考えています。

そこで、市としても、本年三月末に廃止が予定されている小倉北区朝日ヶ丘病院跡地の貸し付けや新設経費の一部補助など積極的に支援したいと思えます。

その際、区役所が区民の日常生活との関わり深い総合的行政機関であることから、さまざまな角度から慎重に調査検討していく必要があると考えています。

近々、提出される最終答申を踏まえ、区役所問題について検討していくことにしています。

その際、区役所が区民の日常生活との関わり深い総合的行政機関であることから、さまざまな角度から慎重に調査検討していく必要があると考えています。

オストメイトの 支援策は

▼人工肛門▲

議員 本市では、四年度から大腸がん検診を実施することになっていますが、近年増加傾向にあるオストメイト（大腸がん等により人工肛門等を造設している障害者）への支援策が、重要な問題になっています。

そこで、オストメイトに対する支援策や相談窓口の設置についてお尋ねします。



同和行政の 今後の取り組みは

議員 昨年十二月、国の地域改善対策協議会から、今後の地域改善対策について意見具申が出されました。

この意見具申を踏まえて、今後、どのように同和行政を進めていくのですか。

また、先日県職員による極めて悪質な差別ビラが大量にばらまかれたという事件が発生しました。こうした問題を市職員の研修や市民に対する啓発事業にどう反映させていくのかお聞かせ下さい。

市長 今後の同和行政は、これまでの同和対策の成果や国の動向、市同和対策審議会の意見を踏まえ、残された課題を解決するため計画的に事業を推進していきます。

また、差別ビラ事件については、同和問題の解決に向けて、市民啓発を積極的に推進してきた本市としては誠に遺憾なことだと思います。

総務局長 人権問題に関する正しい認識を深めるため、同和研修の内容、方法等の一層の充実、強化を図っていく考えです。

教育長 今回の事例も踏まえ、広報活動の充実、啓発教材制作等さらに創意工夫をこらしながら、積極的に啓発活動を行っていきます。

門司港レトロ地区に 観光列車



本市活性化への切り札として大きな期待が寄せられている門司港レトロ事業について、市は、同地区内の臨港鉄道に観光用の列車を走らせることを検討していくことを明らかにしました。

これは、議員の質問に市長が答えたもので、民間活力導入の先行きが注目されているレトロ事業の推進にとって大きなインパクトとなり、その実現が待ち望まれます。



議(会)ひとくちメモ 13

臨時会 臨時会は、定期的に開かれる定例会と異なり、審議する事件を限定し、必要に応じて招集される議会です。市民の直接請求に基づく「国民健康保険条例の改正」等を審議するため、平成4年1月臨時会が開かれました。

1月臨時会

国民健康保険条例改正案を否決

「コメの完全自給」を決議

地方自治法第74条に基づく直接請求

国民健康保険料の引き下げなど市民から直接請求のあった「北九州市国民健康保険条例の一部改正」議案を審議するため、臨時会が一月二十七日、二十八日の二日間の会期で開かれました。

この条例改正案は、本会議民生保健委員会での審議、討論を経て、二十八日の本会議において否決されました。また、この臨時会では、議員提出議案「コメの完全自給に関する決議」を全会一致で可決しました。

国民健康保険条例改正案に

保険料引き下げを

議員 今回、直接請求されている条例改正案について、市は財政事情から実施は困難としています。一般会計からの繰入金金の増額や土地開発基金などの基金活用で財源を確保することはできませんか。

市長 条例案の内容を実施するために、積算できるものだけでも新たに約五十五億円の財源が必要です。国保制度では、国費と保険料で賄うことが原則となっていますが、保険料負担の軽減を図るため、やむを得ず一般会計から多額の繰り入れを行っています。本市の厳しい財政状況や国保制度からすると条例を改正することには反対です。

なお、基金はそれぞれの目的に沿って積み立てを行っているものであり、またその現状からみても、これらを取りくずして財源に充てることは大変困難と考えています。

抜本的改革への

働きかけは

議員 高齢者や低所得層の加入割合が高いなど構造的な要因を抱える国保問題を根本的に解決するためには、国の抜本的な改革が必要です。市は、国にどのように働きかけ、また、国の動きはどうなっているのかお尋ねします。

市長 国保制度の安定運営を図るため、国費負担の拡充など抜本的改革について、あらゆる機会を通じて国に要望を続けています。また、本市のように高齢者等を多く抱え、特に財政基盤の弱い団体に対して何らかの財政措置を講じるよう重ねて要望を行っています。

国においては、四年度から一般会計の負担軽減を図るため、新たな地方交付税措置の実施や助産費の引き上げ等を検討しており、本市も国の動向を見守りながら対応していく考えです。

保健予防・

収納率向上対策を

議員 国保財政を改善する

ためには、医療費抑制に向けた総合的な保健予防対策の推進や保険料の収納率向上に積極的に取り組むことが大切です。市の考えをお聞かせ下さい。

市長 国保運営において、医療費の適正化は重要な課題です。そこで、現在設置している国民健康保険対策会議に保健局等を新たに加え組織強化を図り、保健予防対策に積極的に取り組む考えです。

また、保険料の収納率を向上させるため、徴収、納付指導体制の強化、口座振替の促進を図っています。さらに、現在、保険料の納期回数数の増加等に向けた電算システムの開発を進めているところでです。

以上の質疑のほか、採決に先立ち、議案に反対の立場から、「保険料の負担軽減や給付内容の改善はもとより必要であるが、これらをすべて市の責任で行うことは、法の主旨市の財政事情を考えると現実的ではなく、市民の理解も得られない。国保の安定的運営のため、市に対し健康増進や未納者対策等を強く求めるが、国保問題を解決するためには国の抜本的な制度改革が必要である。」また、賛成の立場から、「国保は社会保障制度の一つであり、市民の健康を守るという立場からも、市は必要な財源措置を行い、積極的に応えていくべきではないか。」等の討論が行われました。

大都市税財政制度 確立特別委員会

この委員会は、九人の議員で構成され、次のような調査研究を行っています。膨大な行政需要を抱えている本市をはじめとする、大都市の税財政の現状やその制度のあり方等について調査を行うとともに、国に対して財源の拡充などの要望を行っています。

委員会 すぽっと



本市議会は、特に重要な事柄について調査、研究するため、六つの特別委員会を設置しています。今回から順次紹介します。



都市活性化対策 特別委員会

また、北九州市や市役所のイメージアップのための方策や親しまれる市役所づくりなどについても調査研究に取り組んでいます。



この委員会は、十一人の委員で構成され、本市の活性化に向けた次のような調査研究を行っています。既存企業の育成や市内への誘致、雇用の拡大について調査研究を行うほか、門司港レトロ事業やスペースワールドなど、玄海レクリエーション構想の推進策について取り組んでいます。また、市が進めている学術・研究都市構想についてその内容や今後の進め方等について研究を行っています。

予算特別委員会の審査から



3月9日に設置された予算特別委員会は、三つの分科会に分かれて、審査を行いました。その中から、いくつかをとりあげました。

市長公舎建設と 国境石整備は

委員 市長公舎の建設経費一億二千六百万円が提案されています。五年三月の完成予定と聞いていますが、建設計画の内容をお尋ねします。

市長 市長公舎建設予定地横には、市指定史跡・筑前と豊前の国境石が建てられています。公舎建設に併せ整備してはいかがですか。

当局 公舎建設地は、八幡東区高見に決まりました。この地区は、緑に囲まれた閑静な住宅地であり、公舎もこの環境にマッチするよう木造平屋、一部二階建和風造りにし、また、海外からの小人数の来客も歓迎できるように施設も設けたいと思っています。

「居住」をテーマに 市制三十周年記念 メイン事業▲

市は、平成五年の市制三十周年のメイン事業として「居住」をテーマに、将来の街づくりにつながる事業を実施することを予算審査のなかで明らかにしました。市長は答弁で「環境に配慮した未来型住宅、高齢者にやさしい住宅をテーマにした事業を考えており、早急に組織づくりに取り組みたい。」と述べました。

本市も、高齢化社会のモデル都市にふさわしい全国に注目されるような介護器具センターを整備してはいかがですか。

当局 介護機器の普及については、市高齢化社会対策総合計画策定委員会も重要な問題として指摘し、機械の展示、試用、あっせん等を行う福祉機器センターの設置を提案しています。

市の対応は ▼路面電車廃止問題▲

委員 先般、西鉄は、路面電車廃止の意向を正式に表明しました。電車廃止及び代替バスの運行に当たっては、バス路線の再編成等多くの検討

もう一度咲かせたい コスモスを



市長は、予算特別委員会の中で、「緑化フェアの際、来客者をはじめ多くの市民の目を楽しませてくれた、ひびき茜ラインのコスモス街道を今年も市民の協力を得て咲かせてみたい」と表明しました。このコスモス街道は、昨年、緑化フェアに向けて、中学生、老人クラブ等の協力で整備され、見事な花が咲きほこっていましたが、フェア開会当日の台風で枯れてしまい、多くの市民からも、もう一度咲かせてほしいとの要望が出ていたものです。

空き缶プレスカーの 導入と 低公害車の普及

委員 市は、空き缶処理対策協会から、空き缶プレスカーの寄贈を受けるとのことですが、どのように活用していくのですか。

市長 また、西部ガス(株)と共同で、天然ガス自動車(低公害車)の走行テストを行うとのことですが、その内容をお聞かせ下さい。

当局 現在、西鉄との間で代替バスの運行経路、本数、バス停の位置、路面復旧方法、費用負担等について協議を行っています。また、西鉄に対し、①現在の

当局 空き缶プレスカーは四年八月頃に寄贈される予定です。イベント会場や学校での選別プレス工程などの実演等を通じて、リサイクル意識の向上や環境教育の推進に役立てたいと思います。

また、西部ガス(株)から天然ガス自動車の走行テスト実施の協力要請がありました。天然ガス自動車は、大気汚染物質の排出量が少ないなどの優れた特性があることから、低公害車普及の面から積極的に協力する考えです。

の電車利用者の利便性に十分配慮すること②バス網の再編成、JR小倉・黒崎駅におけるバスターミナルの整備及びモノレールとの乗り継ぎ乗車券制度を導入すること③高速バス網の充実(三萩野付近のバスターミナル設置等)を検討すること④砂津・浅野車庫跡地利用計画に当たり、市と事前協議を行うこと⑤市との常設の協議の場を設けること等を要望しています。

横代ランプからの 延伸を ▼都市高速道路▲

委員 都市高速道路の横代ランプ付近は、自動車の通行量が多く、交通渋滞も激しくなっています。

そこで、都市高速道路をこの横代ランプから延伸させ、

高齢化社会モデル都市宣言・ 高齢者憲章制定へ

市長は、この二月定例会で、本市が高齢化のモデル都市づくりに取り組む決意を示すためにも、総合計画の策定に併せ、モデル都市宣言の検討を進めたいと述べました。また、年長者への敬愛の念を高めていくため、高齢者憲章の制定にも取り組むことを明らかにしました。

将来的には新北九州空港方面等への結節を図ってはいかがですか。

当局 横代ランプと九州自動車道との結節はぜひ必要です。この実現を図るには、横代ランプを建設予定の東九州自動車道に連結させることが最も早い方法と考えています。そこで、六年に開催が予定されている国の審議会での連結が承認されるよう、今後環境アセスメントや都市計画決定等の手続きを進めていきたいと思っています。

なお、都市高速道路の空港等への延伸を前提にした場合、延伸自体が遅れることになり、まず九州自動車道との結節に努力したいと考えています。